

標準提供のSSLサーバ証明書と比べて、下記のようなメリットがあります。

- 認証局が定める各種フィーチャーフォン(※1)に対応可能となります。(標準提供のSSLサーバ証明書はフィーチャーフォンに未対応となります※2)読者にフィーチャーフォン(ガラケー)利用者が多い場合や、事情によりフィーチャーフォンでフォームのSSL通信を行う必要がある場合に対応できます。
 - フォームをはじめとする、システムで利用されるすべてのURLに対して、独自ドメインによるSSL化が可能(※3)

※1...対応済みフィーチャーフォンは下記参照

- [グローバルサイン社端末対応状況](#)
- [シマンテック社\(旧日本ベリサイン\)端末対応状況](#)

※2...標準提供のSSLの場合、フィーチャーフォンでのアクセスを検知した際は、自動的に平分通信切り替えられます。(デフォルトフォーム利用時)

※3...標準提供のSSLがワイルドカードSSLの場合、SSL通信は「*.y-ml.com」でのみ可能。独自ドメインを利用している場合のSSL通信時は「"独自ドメイン名のドットをハイフンに変換した文字列".y-ml.com」のURLが自動的に使用されます。

関連ヘルプ)

- [ワイルドカードSSLとは何ですか？](#)

標準提供のSSLと何が違うのですか？

2015年 12月 14日(月曜日) 18:30 - 最終更新 2020年 10月 01日(木曜日) 17:17
